

中丹米づくり情報

令和元年6月

本田編
中丹米振興協議会

2019年テーマ

高品質な中丹米を生産しましょう

農林水産技術センター農林センターによれば、5月上旬植の水稲は、移植後の活着はよく、生育はほぼ平年並みです。

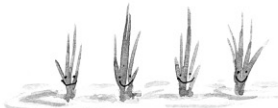
丹後農業研究所によれば、京都府北部では前年冬季の降雪が少なかったためか、河川の水位が低いところがあります。6月は平年に比べ、曇りや雨の日が少ない予報です。

定植以降、晴天の日が続いたため、田面が露出したほ場では、雑草の発生が心配されます。水の確保に努めるとともに、雑草の発生が確認されたら、適切に防除を行ってください。

1. 6月～7月の水管理 ～健全な稲は元気な根から～

間断かんがい(3湛4落・・・3日水を溜めて、4日間落水する)や中干しで土壤中に酸素を供給できます。根の活力を高め根張りを良くし高温や倒伏に強い稲株を作りましょう。

- ①自然落水・・・6月上旬
- ②間断かんがい・・・6月中旬
- ③中干し

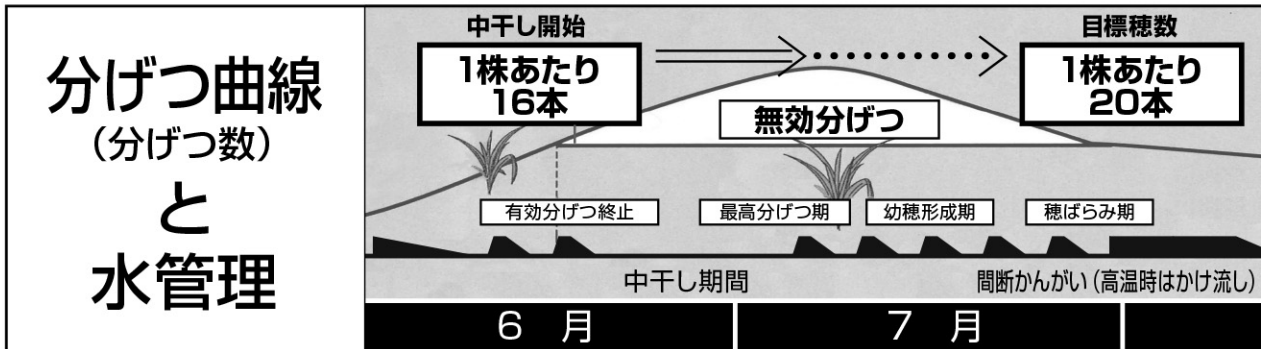


坪株数 (株/坪)	目標穂数 (本/株)	中干し (茎数)
37	25.3	20
43~45	23.0	18
50~60	20.0	16
70	17.0	14

- 1) 中干しの開始・・・目標分げつ数の8割が確保出来た時
- 2) 中干しの終了・・・普通田では人が入ると軽く沈む程度、砂質田では弱いヒビが入る程度

ポイント 水利の状況による中干しが困難な田、排水不良田、区画の大きな水田では「溝切機」で溝を作ることで水管理(入水・保水・落水)が効果的に行なえます。

- ④間断かんがい・・・中干し後から出穂前までは間断かんがいで根の活力を維持
*注意: 幼穂形成期～出穂期に向けて大量の水が必要。水不足になると収量が極端に落ちるので過度な中干しをしない。



2. 倒伏に強い稲を作ろう

倒伏に強い生育を促すためには「中干し」に加え、「**ケイ酸加里**」肥料を施用しましょう。

※ケイ酸加里は、根の活力を増強し根張りを良くするとともに、茎や葉を硬く、丈夫にすることにより倒伏に強い稲に育てます。また、受光体勢が良くなり登熟歩合の向上や高温障害軽減にも効果的です。

施用時期：出穂35～45日前 施用量：40kg/10a

3. 雑草の発生が多い場合

既に雑草が多く発生している水田、毎年後半雑草が多く発生する水田では中後期除草剤を適期に散布し発生を抑えましょう。

令和元年5月17日現在

薬剤名	適用雑草名	希釈倍数 または使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
フイゴールSM 1キロ粒剤	水田一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、オモダカ、クログワイ、ヒルムシロ、アオミドロ・藻類による表層はく離	1kg/10a	移植後15日～ノビエ3.5葉期 但し、収穫60日前まで	1回	湛水散布
マメットSM ジャンボ	水田一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、アオミドロ・藻類による表層はく離	小包装(パック)20個 (1000g)/10a	移植後20日(稲5葉期以降)～ ノビエ3.5葉期、但し、収穫60日前まで	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる
ワイドパワー 粒剤	水田一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、オモダカ、クログワイ、ヒルムシロ	3kg/10a	移植後20日～ノビエ5葉期 但し、収穫60日前まで	1回	落水散布又はごく浅く 湛水して散布
テッケン ジャンボ	水田一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ミスガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ	小包装(パック)10個 (500g)/10a	移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫60日前まで	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる

農薬は、容器等の使用基準ラベルを確認し、正しく使用しましょう。

4. いもち病

梅雨のムシ暑い日が続くといもち病の発生が心配されます。圃場をしっかりと観察するとともに補植用の苗は早目に処分しましょう。また、箱施用剤で予防していない水田では予防剤の散布が必要です。

5. 紋枯病

近年、温暖化の影響で「**紋枯病**」が多発しています。紋枯病は1度発生すると年々ふえていきますので、**昨年発生した圃場は必ず防除を行いましょ**う。箱剤で紋枯病の予防をしていない場合は、リンバー粒剤(3～4kg/10a、収穫30日前まで)を散布しましょう。

～玄米品評会のご案内～

主催：中丹米振興協議会

出品：品種は「コシヒカリ」、出品は「1圃場・1点/1生産者」とし、出品圃場から収穫された玄米を「5kg」出品して下さい。(返却・買上は行いません。)

審査方法：圃場審査・計器による外観審査、食味計による食味審査と、栽培記録簿の審査による総合審査

※食味値などの審査結果は出品者にお返しします。今後の栽培にお役立て下さい。

表彰：成績優秀者(若干名)を表彰します。 申込締切：令和元年7月5日(金)

詳しいことやお申し込みは、最寄りのJA 京都にのくに営農経済センターまたはJA京都・福知山支店まで。

くわしくはJA・農業改良普及センターへお問い合わせ下さい。